



例題1

□にあてはまる等号、不等号を書きなさい。

(1) 40000 □ 30000

(2) 200万+700万 □ 600万+300万

答え (1) > (2) =

[例題1の解説]

等号、不等号という記号の使い方を覚えましょう。

等号はこれまで使ってきた「=」という記号です。「=」は「等号」または「イコール」といいます。等号は「等しい」「同じ」であることを表します。

同 = 同 例： $12=12$ $1+2=3$

不等号は「<」または「>」という記号です。不等号は大きさが「等しくない」「異なる」ことを表します。

小 < 大 例： $3<5$ $3+4<8$

大 > 小 例： $7>6$ $4+5>3+5$

(1) 40000のほうが30000より大きいので $40000>30000$

(2) $200万+700万=900万$ $600万+300万=900万$
ともに900万で同じなので、 $200万+700万 = 600万+300万$



ポイントまとめ

- 等号「 $=$ 」は「等しい」「同じ」であることを表します。
- 不等号「 $<$ 」「 $>$ 」は大きさが「等しくない」「異なる」ことを表します。